

中山間地域の 活性化と

Hilly & Mountainous Areas × University

大学の役割

取り組み事例の報告と今後の活性化戦略

わが国は本格的な人口減少の時代を迎え、中山間地域を中心に少子高齢化による深刻な社会問題が顕在化しつつあります。とくに中国地方は全国より10年早く中山間地域問題が進んでいるといわれています。全国各地の大学では、地域と連携して様々な中山間地域の活性化を目指した活動が行われ、一部では大きな成果を上げておられます。鳥取環境大学はこれまでの10年間の環境問題の解決へ向けての取り組みの蓄積を背景に、地域環境問題への取り組みの一層の深化と地域連携を軸にした新たな大学へ生まれ変わろうとしています。本シンポジウムは、とくに西日本の中山間地域で大学と地域が連携して活性化を目指して取り組んでおられる事例を具体的に報告いただき、新しい地域活性化戦略の中で大学がどのような役割を果たすことが出来るかを検討したいと思います。また、最近期待を集めている再生可能エネルギー、とくに小水力エネルギーを利用した地域活性化戦略についても検討を深めることが出来ればと思います。

2011 **1.29** 土 13:00▶17:00 **鳥取環境大学 12講義室**

参加費無料
申し込み不要

プログラム(13:00/開会)

1 農村振興と大学の役割

鳥取環境大学 環境情報学部 マネジメント学科 教授 三野 徹

2 山里と街を結ぶ 古民家再生・焼畑・大学

滋賀県立大学 人間文化学部 地域文化学科 教授 黒田 末壽 氏

3 土地利用計画と鳥獣害対策を切り口にした集落の活性化 和歌山県古座川町潤野地区における京都大学農村計画学研究室 の取り組み事例

京都大学 大学院農学研究科 地域環境科学専攻 助教 九鬼 康彰 氏

4 地域住民と行政の連携による活性化計画づくりと大学の研究・教育

愛媛大学 農学部 生物資源学科 准教授 武山 絵美 氏

5 農村地域の活性化を目指した産学官連携によるマイクロ水力発電の導入 石川県立大学生物資源環境学部環境科学科農地工学研究室の取り組み事例

石川県立大学 生物資源環境学部 環境科学科 准教授 瀧本 裕士 氏

6 農業用水の水力エネルギー利用と農村の活性化 農村工学研究所の取り組み事例

独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構 農村工学研究所 施設資源部 上席研究員 後藤 真宏 氏

鳥取環境大学は開学10周年を迎えます
鳥取環境大学

お問い合わせ先

鳥取環境大学 サステナビリティ研究所 事務局

〒689-1111 鳥取県鳥取市若葉台北一丁目1番1号 TEL.0857-38-6701 FAX.0857-38-6709
E-mail: kikaku@kankyo-u.ac.jp

〈交通アクセス〉●鳥取駅からバスで約20分 ●鳥取空港から車で約30分 ●JR津ノ井駅から徒歩約20分

本シンポジウムは、鳥取市の受託研究事業「再生可能エネルギーを核とした鳥取市における中山間地域振興の基本戦略の検討」を受けて実施するものです。

